



キッツグループ環境理念

キッツグループは、環境に配慮した商品・サービスの提供と事業活動の推進により、社会から信頼される企業を目指します。

キッツグループ環境行動方針

環境を経営の重要な視点として意識し、一人ひとりの社員が次の施策に積極的に取り組みます。

1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供

2. 資源の有効活用

3. 廃棄物の削減と再使用・再利用の推進

4. 環境汚染の防止・予防

リスクの予防とコストの低減を図り、グループを挙げて環境経営を推進します

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」で掲げた「真のグローバル企業へと進化します」というスローガンの実現に向けて、「グループを挙げた環境経営の推進」を経営基盤強化の一つとして位置づけ、これをもとに「環境マネジメント体制の強化」「環境負荷の低減及び環境関連法規制対応」の2つの目標を設定しています。

● 環境マネジメント体制の強化

国内の全生産拠点で完了しているISO14001 認証取得を海外拠点にも広げていきます。早期に海外の全生産拠点での取得を完了し、真のグローバル企業としての環境管理体制の構築を目指します。

● 環境関連法規制対応及び環境負荷の低減

日本国内はもとより、欧州、アジア、米国など世界的に規制が厳しくなる環境問題に対し、各種環境法規制への遵守にとどまらず、事業活動に影響を及ぼすあらゆるリスクを排除する活動に取り組んでいきます。

また、事業活動に投入されるエネルギーや水資源、事業活動によって排出されるCO₂、廃棄物、化学物質の削減に取り組んでいきます。限りある資源を効率的に活用するとともに、徹底したムダの排除により総量と原単位の両面から環境負荷低減に取り組んでいきます。

この2つの目標は『リスクの予防』と『コストの低減』の両立をベースに達成したいと考えております。

長期経営計画におけるグループ環境目標

1. 環境マネジメント体制の強化

- 海外拠点のISO14001 認証取得
- 環境関連数値の管理体制の構築

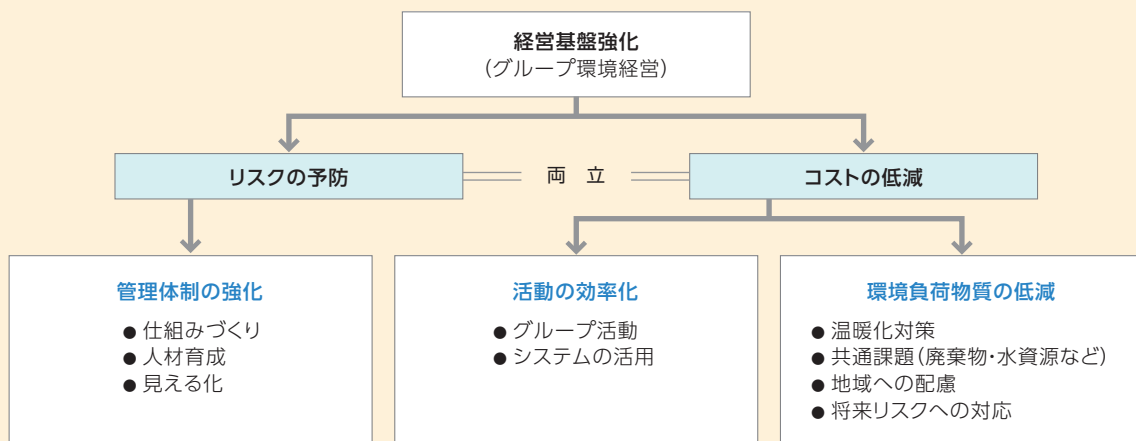
2. 環境負荷の低減及び環境関連法規制対応

目標設定項目

- CO₂排出量
CO₂排出量原単位 (t-CO₂/億円) を2020年度に2013年度比△10%削減
(原単位: 2013年度 58.81 → 2020年度 52.71)



目標達成に向けた環境経営の考え方と取り組み



環境目標と実績

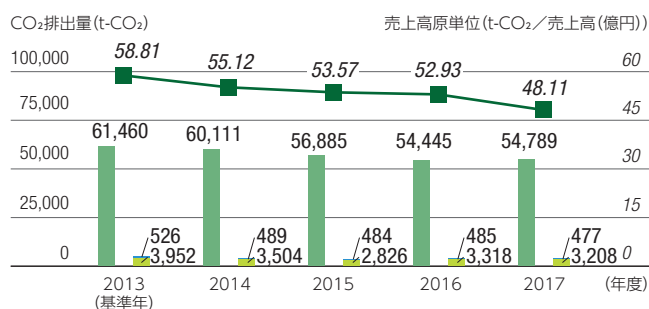
第3期中期経営計画(2016年度～2018年度)において「グループ環境経営の推進」を掲げ、環境活動を進めています。

重点テーマ	実施項目	2017年度到達目標	2017年度実績
環境経営の確立	1.環境マネジメント体制の強化		
	①グループ環境管理体制の構築	①2015年版ISO14001統合認証更新(国内7拠点) ②海外生産拠点の環境実績管理の推進(エネルギー、廃棄物等)	①2017年10月に2015年版ISO14001のグループ維持審査受審完了 ②KITZ (Thailand) Ltd.環境監査実施
環境負荷の低減	2.地球温暖化防止		
	①地球温暖化ガスCO ₂ 排出量原単位(t-CO ₂ /億円)の低減	売上高原単位52.40t-CO ₂ /億円	売上高原単位48.11t-CO ₂ /億円
環境関連法規制対応	3.環境リスクの見える化と対応		
	①法規制への対応	①法改正の情報収集体制の整備及びその対応	改正土壌汚染対策法の対応実施
	②PCB	②国内グループ会社PCB廃棄物処分	高濃度PCB:2016年度に全て処分が完了 低濃度PCB:33台処分

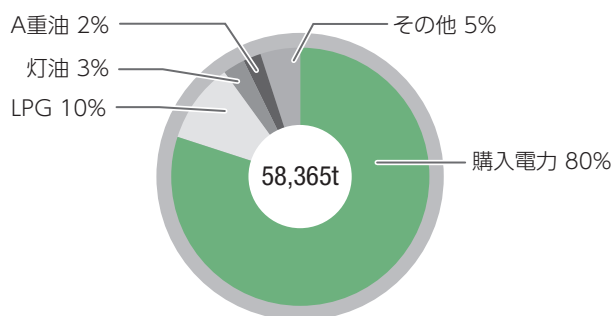
主な環境データ

■ キッツ及び製造グループ会社(営業所は除く) ■ サービスグループ会社 ■ キッツ及び製造グループ会社(営業所)
 ■ 売上高原単位はキッツ及び国内グループ会社(営業所は除く)

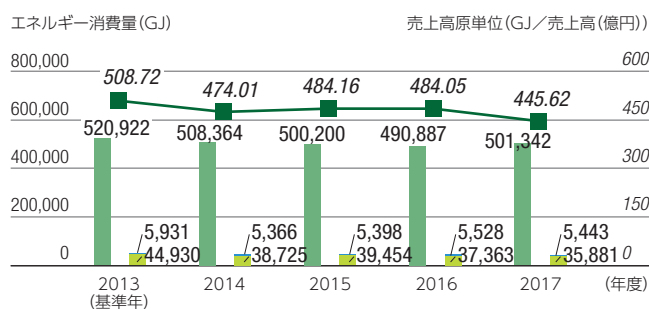
CO₂排出量の推移



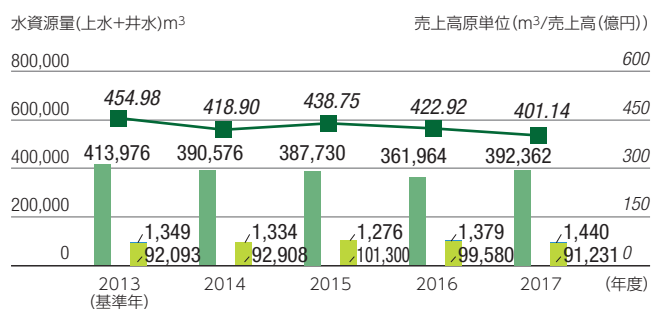
エネルギー別CO₂排出量割合



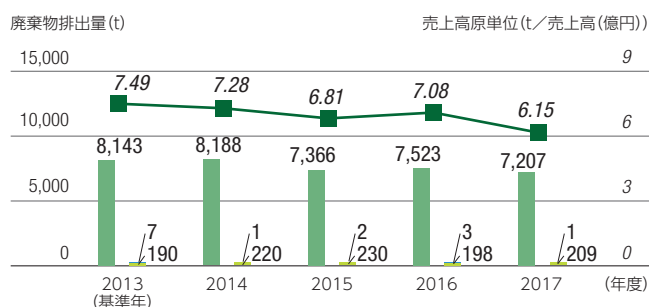
エネルギー消費量の推移



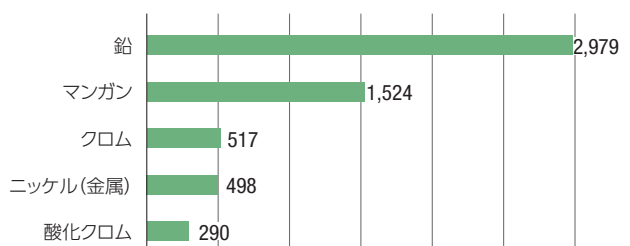
水資源量



廃棄物排出量の推移



PRTR対象物質使用量(上位5種)



※年間取り扱い量1t未満、含有率1%未満のPRTR対象物質も集計しています。

環境負荷の全体像

INPUT		キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)	主な原材料		キッツグループ (キッツ+製造)
主なエネルギー					●鉛 (t)		2,980
●電気					●ニッケル (t)		497
●購入電力 (千kWh)		91,420	421	4,126	●マンガン (t)		1,525
●太陽光発電 (千kWh)		45			●クロム (t)		517
●都市ガス (千m ³)		9		213	●銅 (t)		52,032
●LNG (t)		450			●亜鉛 (t)		22,812
●A重油 (kl)		471		58			
●LPG (t)		1,855	19	151	主な副資材		
●灯油 (kl)		686	21	28	●中子砂		
●冷・温水 (GJ)		3,539			●鋳物砂 など (t)		4,777
					●塗料、シンナー (t)		152
					●油剤 (t)		197
水							
●上水 (千m ³)		151	1	91			
●地下揚水 (千m ³)		241					

KITZ GROUP	開発設計	調達	生産	物流	販売
------------	------	----	----	----	----

OUTPUT		キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)	廃棄物等排出量		キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)
大気への排出					●産業廃棄物 (t)		7,037		76
●CO ₂ (t)		54,789	477	3,208	●一般廃棄物 (t)		170	1	132
●ばいじん (t)		5.5		0.0	●有価物 (t)		6,427		47
●NOx (t)		8.3		1.2	●最終処分量 (t)		381		25
●SOx (t)		11.0			化学物質排出量 (PRTR対象物質)				
					●大気 (t)		60		
					●廃棄物 (t)		217		
					●公共水域 (t)		0.0		

環境会計

■ 環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組みの内容	設備投資額	費用額
事業エリア内コスト		360,591	542,089
内訳	公害防止コスト	公害防止施設・設備の導入・維持管理	206,889
	地球環境保全コスト	省エネ型設備・機器の導入	148,382
	資源循環コスト	廃棄物減量化・リサイクル、外部委託処理費	5,320
グリーン購入製品 リサイクルコスト	使用済み商品の回収・リサイクル費用	0	8,268
管理活動コスト	ISO・環境測定・環境情報の開示	4,160	65,461
研究開発コスト	鉛フリーなど環境配慮商品の開発	0	55,828
社会活動コスト	緑化活動の推進	0	451
環境損傷コスト	地下水の浄化対策	0	1,200
その他のコスト		0	0
合計		364,751	673,297

項目	内容等	金額
当該期間の設備投資額の総額	環境保全に係る投資額の割合:4.4%	8,308,595
当該期間の研究開発費の総額	環境保全に係る開発費の割合:2.5%	2,211,368

集計範囲はキッツ(本社、長坂工場、伊那工場、茅野工場)、キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルター、キッツエスシーティー、清水合金製作所、キッツエンジニアリングサービス、ホテル紅や

■ 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	前期 (2016年度)	当期 (2017年度)	前期との差 (環境保全効果)
事業活動に投入する 資源に関する環境保 全効果	総エネルギー投入量(GJ)	528,250	537,223	8,973
	PRTR対象物質の投入量(t)	5,261	5,843	582
	上水投入量(m ³)	236,182	242,577	6,395
事業活動から排出す る環境負荷及び廃 棄物に関する環境保 全効果	地下水投入量(m ³)	225,362	241,016	15,655
	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	57,762	57,997	235
	特定の化学物質排出量・ 移動量(t)	292	277	-15
	一般廃棄物及び 産業廃棄物総排出量(t)	7,721	7,416	-305

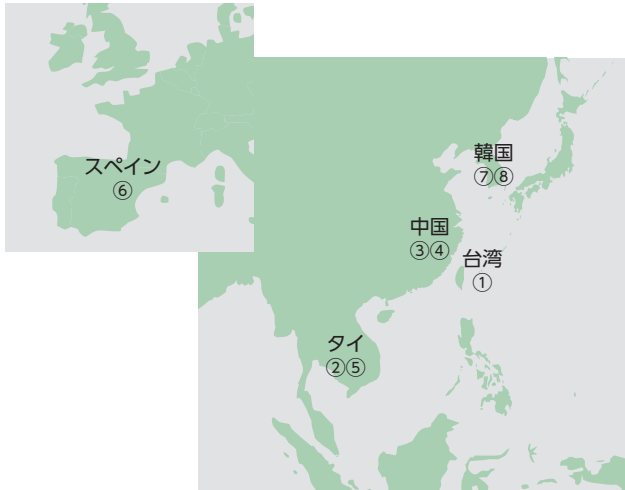
■ 環境保全対策に伴う経済効果(実質的効果)

(単位:千円)

効果の内容		金額
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは 使用済み商品等のリサイクルによる事業収入	476,690
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	173,487
	リサイクルに伴う費用節減	204,379
	廃棄物減量に伴う費用節減	19,458
合計		874,014

海外における環境マネジメントの強化

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」を策定し、環境経営の推進を経営基盤強化の主要項目として位置付けています。環境中期計画では、国内外全ての製造拠点でISO14001認証を取得することを目標に設定しており、グローバルな環境マネジメントの確立に取り組んでいきます。



■ ISO14001 統合認証取得事業所

事業所名	
(株)キッツ長坂工場	(株)キッツマイクロフィルタ― (本社工場、第二工場)
(株)キッツ伊那工場	(株)キッツエスシーティ―
(株)キッツ茅野工場	(株)清水合金製作所
(株)キッツメタルワークス	東洋バルヴ(株)甲信営業所

■ ISO14001 認証取得状況(海外)

事業所名	認証年月
①台湾北澤股份有限公司	2000年 11月
②KITZ (Thailand) Ltd. Bangplee工場	2010年 12月
③北澤精密機械(昆山)有限公司	2010年 12月
④北澤閥門(昆山)有限公司	2011年 4月
⑤KITZ (Thailand) Ltd. Amatanakorn工場	2012年 2月
⑥KITZ Corporation of Europe, S.A.	2012年 5月
⑦Cephas Pipelines Corp.	2003年 5月
⑧Filcore Co., Ltd.	2014年 8月

算定基準(2017年度実績)

環境パフォーマンス指標	単位	算定方法
INPUT	総エネルギー投入量	GJ 事業活動で消費されるエネルギー量(GJ) Σ [各エネルギー年間使用量×各単位発熱量]×10 ⁻³ *出典:平成28年度(2016年度)エネルギー需給実績(確報)(平成30年4月24日公表) 資源エネルギー庁 電気:3.6MJ/kWh A重油:38.9MJ/ℓ 灯油:36.5MJ/ℓ 軽油:38.0MJ/ℓ LPG:50.1MJ/kg 都市ガス:41.3MJ/m ³ ガソリン:33.4MJ/ℓ LNG:54.5MJ/kg
		GJ キッツ本社ビル(千葉県:幕張新都心)において、空調利用のために地域冷暖房システムから熱源である冷水を受け入れている量
	原材料投入量	トン 製品を製造するために直接使用する原材料の年間使用量(t)
	水の使用量	m ³ 上水及び地下水の年間使用量(m ³)
OUTPUT	二酸化炭素排出量 事業活動	トン 事業活動で消費されたエネルギーにより排出された二酸化炭素(t) *地球温暖化対策推進法施行令より 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 電力(kg-CO ₂ /kWh) 東京電力:0.486 関西電力:0.509 中部電力:0.485 北海道電力:0.632 東北電力:0.545 北陸電力:0.640 中国電力:0.691 九州電力:0.462 A重油:2.70kg-CO ₂ /ℓ 灯油:2.48kg-CO ₂ /ℓ 軽油:2.61kg-CO ₂ /ℓ LPG:2.96kg-CO ₂ /kg 都市ガス:2.06kg-CO ₂ /m ³ 東京ガス:2.19kg-CO ₂ /m ³ 大阪ガス・北ガス:2.29kg-CO ₂ /m ³ 冷・温水:0.057kg-CO ₂ /MJ ガソリン:2.24kg-CO ₂ /ℓ LNG:2.70kg-CO ₂ /kg ばいじん量(t)=ばいじん濃度(g/m ³ N)×単位時間当たりの乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h/年)×10 ⁻⁶ SO _x (t)=硫酸化合物濃度(ppm)×単位時間当たりの乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h/年)×64/22.4×10 ⁻⁹ NO _x (t)=窒素化合物濃度(ppm)×単位時間当たりの乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h/年)×46/22.4×10 ⁻⁹
		トン 廃棄物等排出量 廃棄物最終処分量:委託した廃棄物量(トン)×最終処分率*(%) ※一般廃棄物9.7%(環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成28年度実績)について」より引用。産業廃棄物:中間処理業者から回答の得られた値。)

対象期間:対象期間は2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)の実績です。
対象範囲:キッツ及び国内グループ会社6社(詳細はWEBサイトをご覧ください)
環境パフォーマンス情報の収集・報告の方針及び基準:環境関連法規に準拠し、「キッツグループ環境理念」「キッツグループ環境行動指針」「キッツグループ環境・安全衛生パフォーマンスデータ算定ガイドライン」他環境関連社内規定に基づき記載しています。

参考にしたガイドライン:

- 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- 環境省「環境会計ガイドブック(2005年版)」
- 発行:2018年7月
- 次回発行予定:2019年7月(毎年発行していく予定です)

キットグループ安全衛生基本理念

キットは人間尊重を基本とし、安全衛生が全ての活動に最優先することを認識し、積極的に安全衛生活動に取り組み、災害ゼロを目指します。

キットグループ安全衛生基本方針

1. いきいきとした快適な職場づくりに努め、心とからだの健康づくりを推進する。
2. 労働安全衛生法令及び関係法令を順守するとともに、社内規程・基準に基づき全ての従業員の安全衛生を確保する。
3. 安全衛生活動に必要な知識・技能を、全ての従業員に教育・訓練して安全衛生管理レベルの向上を図る。
4. 従業員が安心して働けるよう、設備の本質安全化を図る。
5. 職場における危険性・有害性を取り除き、リスクの低減を図る。

先取り(予防)と安全意識の向上を図り、グループを挙げて安全衛生活動を推進します

「組織的な活動の充実とライン化の徹底」と「職場自主活動の活性化(小集団活動によるボトムアップ)」との両方向から展開を図り、一人ひとりのマインドを変え、安全意識を向上させ、職場風土を変革していきます。

従業員の安全と健康の施策として、「安全の先取り(予防)」と「安全意識の向上」を図るため、以下の重点取組事項を設定しています。

- 管理体制の整備(安全衛生関係法令の順守)
- 機械・設備、人への安全対策(類似災害防止)
- 職場風土づくり(ゼロ災運動の推進)

